

子どもたちの「市民性」を 育てるために



和歌山県がめざす「市民性」

「市民」とは、基本的人権を有するすべての人です。

◎権利と義務をもつ主体として尊重されるとともに、その責任を果たすことが求められる存在です。

「市民性」とは、基本的人権を有する主体としての自覚と行動の仕方です。

◎「社会に適応する力」と「共に社会をつくる力」を合わせもつものです。

人や社会とのつながりを大切にしながら、地域社会の一員として、よりよい地域づくりに積極的に参加できる資質や態度が求められます。

◎「市民性」を構成する要素は、「**自立**」・「**共生**」・「**社会参加**」です。

「市民性」

自立

自らの向上をめざし、自分の思いや考えを大切にして、主体的に行動できる資質や態度
(自主自律・個性尊重・希望、勇気・向上心 など)

共生

他者とのつながりを大切に、相互理解を深めながら、調和をめざした行動がとれる資質や態度
(思いやりや感謝・意思疎通・責任感・協調性 など)

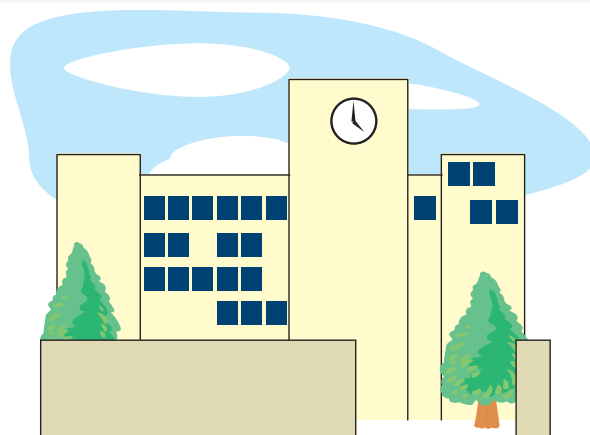
社会参加

よりよい地域づくりをめざして、社会の一員としての自覚をもって自分たちができることを積極的に行う資質や態度
(公德心・社会連帯・郷土愛・社会的役割 など)

「市民性を育てる教育」を進めるために

和歌山県では、すべての学校において、社会的な実践力をもった「よき市民」、「よき市民のリーダー」の育成をめざし、「市民性を育てる教育」を推進しています。

各学校では、「市民性」を構成する要素である「**自立(自分を高める)**」・「**共生(豊かにかかわる)**」・「**社会参加(進んで役立つ)**」の視点を大切に、学校や地域の特色を生かしながら、発達の段階に即した指導を計画的に展開していくことが望まれます。



「市民性」が育まれる環境づくり

「市民性を育てる教育」を進めるには、何よりも「市民性」が育まれる環境づくりに留意することが大切です。児童生徒が権利と義務をもった学習者として尊重される雰囲気のもと、日々の学校生活や学習指導が展開される教育環境は、「市民性を育てる教育」を推進する重要な基盤となります。

授業規律を大切に、児童生徒が自分の意見や気持ちを積極的に表現するとともに、相手の意見や気持ちをじっくりと聞くことができる環境の中で、「市民性」の取組が効果的に機能していきます。また、それは、豊かな学習が展開される教育環境ともなります。



大切にしたい指導のポイント

「市民性」(「自立」「共生」「社会参加」)に関する学習内容は、様々な教科等の学習内容に豊富に存在します。こうした内容を「市民性の育成」という視点から捉え直し、全ての教職員が《取組の方向》を見据えながら、「大切にしたい指導のポイント」をしっかりと意識した指導を展開することが大切です。

市民性を育てる「学習単元」による推進

「市民性」の育成を図っていくには、道徳教育などで実践されている総合単元的な取組のように、「市民性」に関連するいくつかの学習を組み合わせた「学習単元」を構成して、各学校の実態に応じて計画的・関連的に指導を展開することが効果的です。

その際、実践意欲や心情を高める道徳(小・中学校)や様々な実践活動の場を提供する特別活動などを効果的に関連させることが有効となります。

このように、「市民性」に関する学びを一連の学習として展開することにより、習ったことを結び付けたり、活用したりして、子どもたちの内面での統合を促すことができ、実践的な態度を育成する有効なアプローチとなります。



「市民性」を構成する要素



「市民性」が育まれる環境づくり

- ◆一人一人の人格が尊重される環境
- ◆自立と対話・協調が促進される環境
- ◆確かな指導力や指導体制のもとに教育活動が展開される環境

大切にしたい指導のポイント

●「市民」としての知識や技能を高めさせる。

- ・基本的な生活習慣や規範
- ・他者とのかかわり方
- ・合意形成、問題解決の仕方
- ・権利と義務、社会的課題などの公民的な知識
- ・社会参加の仕方 など

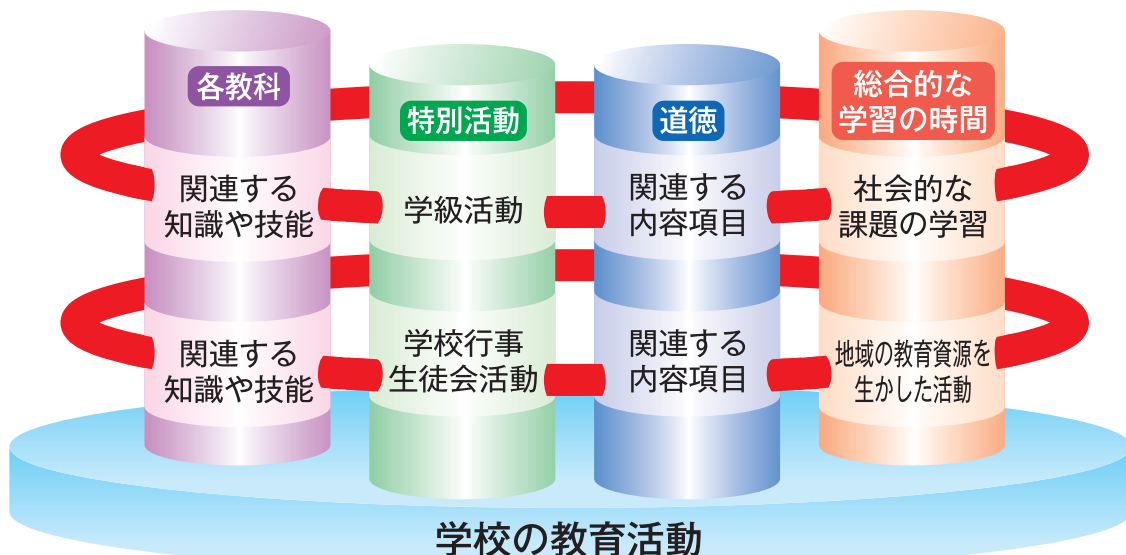
●帰属意識を高める集団活動を活性化する。

- ・仲間づくりの推進
- ・学級活動の充実
- ・児童会活動や生徒会活動の活性化
- ・地域活動への参加
- ・地域の教育資源の活用
- ・学び合う活動の充実 など

●動機付けとふり返りを大切にしたい体験活動や実践活動を展開する。

- ・目的意識や向上意欲の喚起、社会的な活動への意味付け(実践化への働きかけ)
- ・既習事項の実際の場での運用
- ・批判的な見方の育成
- ・外部評価等の活用 など

市民性を育てる「学習単元」(イメージ)



小学校(低学年)【生活科を軸にした学習単元例】

○単元名 たんけん・はっけん・大ぼうけん

○ねらい 児童が自分と身近な人々や社会と主体的にかかわり、自分の住む地域に愛着をもつ。また、人や社会と繰り返しかかわり、相互交流することを通して、「市民性」の基礎であるルールやマナーなどについて体験を通して理解する。

学習のおおまかな流れ	「市民性」の育成
<p style="text-align: center;">たんけん・はっけん・大ぼうけん</p> <p>【生活科】町をあるき、見つけたことを伝え合おう ・地域の人・もの・ことに豊かにふれる。 ・見つけたことを伝え合う。</p> <p style="text-align: center;">↓ ← 道徳「礼儀」 ・学級活動「交通安全について」 など</p> <p>【生活科】みんなで町たんけんをしよう ・探検の計画と約束を考える。 ・探検したことをまとめる。</p> <p style="text-align: center;">↓ ← 道徳「公德心」 ・国語「伝え方・聞き方」 など</p> <p>【特別活動(学級活動)】「お世話になった人にお礼をしよう」 ・町のすてきなところを紹介する。 ・地域の人からの感想を聞く。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【生活科】活動をふりかえろう ・自分と友だちのがんばり ・楽しかったことや気づいたこと など</p>	<p>○「自分を高める」 (礼儀や規範意識)</p> <p>○「豊かにかかわる」 (コミュニケーション力)</p> <p>○「進んで役立つ」 (郷土愛、感謝の念)</p> <p>○「自分を高める」 (自尊感情)</p>

小学校(高学年)【総合的な学習の時間を軸にした学習単元例】

○単元名 みんなで考えよう わたしたちの町

○ねらい 防災をテーマにした探究活動を展開する中で、「自助・共助・公助」の意味と重要性を理解し、防災に対する認識を深める。また、地域や行政とともに「災害に強いまちづくり」について意見交流する活動を通して、地域への帰属意識を高め、積極的に社会へ働きかけようとする資質や能力を育む。

学習のおおまかな流れ	「市民性」の育成
<p style="text-align: center;">みんなで考えよう わたしたちの町</p> <p>【総合的な学習の時間】「わたしたちの防災大作戦」 ○自分たちの町の防災対策を調べよう ・予想される被害、取組の現状や様子、地域の人々の意識 など</p> <p style="text-align: center;">↓ ← 学校行事「社会見学」・道徳「公德心」・学級活動「マナーについて」 など</p> <p>○自分たちにできることを考えよう ・防災対策はこれでいいのか ・自分たちにもできることがあるのでは など</p> <p style="text-align: center;">↓ ← 道徳「郷土愛」・国語「話す・聞く」・学級活動「役割について」 など</p> <p>●地域の方と共に考えよう。 ・自分たちの提案にアドバイスをいただき、「防災に関する提言」をまとめる。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【特別活動(学級活動・児童会活動)】 ○活動をふり返り、広げよう ・みんなで考え合うことの大切さ ・「防災に関する提言」の発信 など</p>	<p>○「自分を高める」 (礼儀や規範意識)</p> <p>○「進んで役立つ」 (地域社会への認識)</p> <p>○「豊かにかかわる」 (共感性・コミュニケーション)</p> <p>○「自分を高める」 (自尊感情)</p> <p>○「進んで役立つ」 (郷土愛、社会貢献)</p>

中学校【社会科を軸にした学習単元例】

- 単元名 まちづくりに参加しよう ～もっと住みよいまちにするために～
- ねらい 基本的人権や地方自治などの意義について理解するとともに、主権者意識をもって自分たちの住む地域をよりよくしようとする実践的な活動を行うことにより、地域社会の一員としての自覚と社会参加に対する意識を高める。

学習のおおまかな流れ	「市民性」の育成
<p>まちづくりに参加しよう ～もっと住みよいまちにするために～</p> <p>【社会科】基本的人権や義務について学ぼう ・個人の自由、権利と責任、義務などについて学ぶ。</p> <p>↓ ← ・道徳「郷土愛」 ・学級活動「集団生活の向上」 など</p> <p>【社会科】地方自治の意義を学び、自分たちの暮らしをみつめよう ・意義を理解し、自分たちの住む町の課題を考える。</p> <p>↓ ← ・国語「効果的な伝え方」 ・道徳「社会貢献」 など</p> <p>【社会科】みんなで「まちづくりのプラン」を考えてみよう ・自治体に働きかけること ・自分たちでできること</p> <p>↓</p> <p>【特別活動(生徒会活動、学校行事など)】 ○首長への提言 ○他者への働きかけや地域での実践活動 ○活動のふり返り(役に立てたこと・本活動の意義 など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「自分を高める」 (主権者意識) ○「進んで役立つ」 (公民的知識の理解 ・社会認識) ○「自分を高める」 (共感性・コミュニケーション力) ○「自分を高める」 (自己実現、市民意識) ○「進んで役立つ」 (地方自治への働きかけ、 社会貢献)

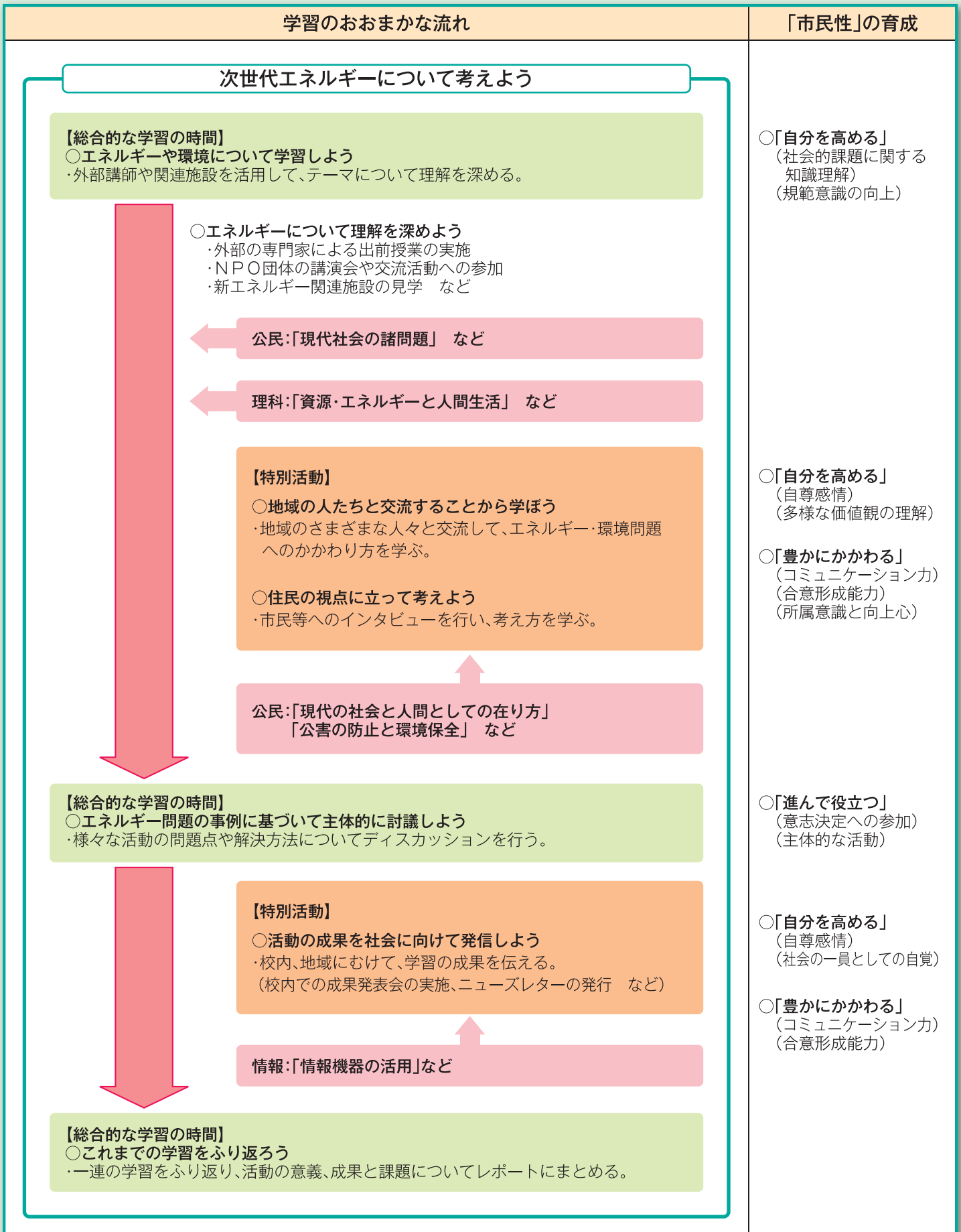
中学校【特別活動(生徒会活動)を軸にした学習単元例】

- 単元名 よい学校・地域にしよう ～「花いっぱい運動」をしよう～
- ねらい よりよい生活環境づくりをめざした集団活動を通して、ルールやきまりを大切にして目標に向けて力を合わせる大切さを理解するとともに、地域との共同実践を行うことにより、地域の一員として共に生きようとする資質や態度を育てる。

学習のおおまかな流れ	「市民性」の育成
<p>よい学校・地域にしよう ～「花いっぱい運動」をしよう～</p> <p>【特別活動(生徒会活動・学級活動)】 ○生徒会執行部から各学級へアイデアを募集する</p> <p>↓ ← ・学級活動「集団生活の向上」 ・道徳「愛校心」「郷土愛」 など</p> <p>○各学級で提案を検討し、生徒会で決定する ○「花いっぱい運動」を計画し、準備を行う ・各学級への説明と協力依頼 ・PTAや地域への紹介や連絡 など</p> <p>↓ ← ・美術「ポスターの作成」・学級活動「役割と責任」・道徳「公共心」など</p> <p>↓</p> <p>【特別活動(生徒会活動・学校行事)】 「花いっぱい運動」の実施 ・みんなで協力して学校と地域を「花いっぱい」にする。【地域との共同実践】</p> <p>↓</p> <p>【特別活動(生徒会活動・学級活動)】 ○活動をふり返り、成果と課題を考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「進んで役立つ」 (積極的な提案、参加意識) ○「豊かなかわり」 (帰属意識 ・コミュニケーション力) ○「自分を高める」 (創意工夫・役割遂行 ・規範意識) ○「進んで役立つ」 (愛校心、郷土愛・社会貢献) ○「豊かなかわり」 (豊かな人間関係、役割の自覚) ○「自分を高める」 (達成感・新たな課題の発見)

高等学校【総合的な学習の時間を軸にした学習単元例】

- 単元名 次世代エネルギーについて考えよう
- ねらい 私たちの日々の暮らしと切り離すことができないエネルギー・環境問題についての理解を深めるとともに、地域の一員としての自覚と社会参画の意識を育てる。



特別支援学校(中学部)【特別活動を軸にした学習単元例】

- 単元名 近隣地域の清掃に取り組もう！
- ねらい 学校近くの地域を清掃することで、ゴミ問題について考えるとともに、住みよいまちづくりに取り組み、地域社会に貢献しようとする態度を育む。

学習のおおまかな流れ	「市民性」の育成
<div style="text-align: center; border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 近隣地域の清掃に取り組もう！ </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px;"> <p>【総合的な学習の時間】 ゴミの分別について考えよう ・ゴミの種類や分別の意義について考える。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">← 道徳「公德心・勤労・奉仕・郷土愛」・学級活動「ボランティア活動の意義」 社会科「集団生活ときまり」 など</p> <p>【特別活動】(生徒会活動) 近隣地域を清掃しよう ・近隣地域の清掃作業を行い、ゴミを分別収集する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【特別活動】(学級活動) ルールやマナーについて考えよう ・ゴミのポイ捨て問題や分別収集を題材に、社会生活におけるルールやマナー、住みよいまちづくりについて考える。</p> </div>	<p>○「進んで役立つ」 (まちづくりへの参加)</p> <p>○「自分を高める」 (規範意識)</p> <p>○「進んで役立つ」 (公德心)</p>

特別支援学校(高等部)【総合的な学習の時間を軸にした学習単元例】

- 単元名 これからの私(進路に向けて)
- ねらい 生徒が、自分の興味・関心や自分を取り巻く環境、生き方について考え、将来の生活設計に方向性をもつことができるようになる。また、主体的に進路を決定しようとする意欲を高める。

学習のおおまかな流れ	「市民性」の育成
<div style="text-align: center; border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> これからの私(進路に向けて) </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 10px;"> <p>【総合的な学習の時間】 自分をふり返ろう ・自分の興味・関心や自分を取り巻く環境について考える。 ・入学後をふり返り、ワークシートに成長した自分を記入する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">← 道徳「個性伸長」・国語「話すこと・聞くこと」 など</p> <p>【総合的な学習の時間】 進路選択について考えよう ・卒業後、どのような進路を希望するのか発表する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">← 道徳「礼儀・勤労・奉仕」・社会科「集団生活と役割・責任」 など</p> <p>【作業学習】 作業現場等における実習 ・産業現場等での実習で、自己の能力や適性について考える。 ・働くことの楽しさ、厳しさ、マナーなどを学ぶ。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>【総合的な学習の時間】 進路に向けての考えをまとめよう ・進路選択に向けて、自分の将来や進路についての考えをまとめる。</p> </div>	<p>○「自分を高める」 (自尊感情)</p> <p>○「豊かにかかわる」 (コミュニケーション力)</p> <p>○「自分を高める」 (自主自律)</p> <p>○「豊かにかかわる」 (責任感・協調性)</p> <p>○「進んで役立つ」 (社会的役割)</p> <p>○「自分を高める」 (自主自律)</p>

「市民性を育てる教育」がめざす子どもの姿(例)

他者や社会とのつながりの中で活躍できる

自立

共生

社会参加

	自分を高める	豊かにかかわる	進んで役立つ
取組の方向	<ul style="list-style-type: none"> ・自尊感情を高める ・規範意識を育てる など 	<ul style="list-style-type: none"> ・他者への共感性を育てる ・コミュニケーション力を高める など 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や社会への認識を深める ・まちづくりや地域活動等に参加(参画)する など
段階			
小学校	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のよさや欠点に気付き、自分らしさを大切にしながら、目標に向かってがんばる。 ○約束やルールを守り、基本的な生活習慣を大切に生活をおくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○集団活動に積極的に参加し、互いのよさを理解しながら、自分の役割を果たす。 ○あいさつや言葉遣いなどに心がけ、友達と意見や気持ちを交流しながら活動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域社会とのふれあいを深め、ふるさとのよさを知る。 ○よりよい学級や学校をめざし、自分たちにできることを考えて実践する。
中学校	<ul style="list-style-type: none"> ○自分のよさを積極的に伸ばしながら、より高い目標をめざして努力する。 ○ルール、きまりの必要性や自分の言動が及ぼす影響を理解し、適切な行動をとろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○互いのよさや立場を理解し、互いに支え合いながら、よりよい集団活動をめざす。 ○相手の立場に配慮しながら、意思疎通に心がけ、積極的に人間関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○市民として必要な知識を高め、地域活動の意義などを理解する。 ○よりよい学校や地域をめざして課題を見つけ、解決してこうと積極的に取り組む。
高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の将来を見据えながら目標や夢の実現に向けて自分の能力を高めようとする。 ○社会規範の必要性や意義を理解し、社会の一員としてマナーやモラルを高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○集団の一員として、自覚と責任、相互理解を大切にしながら自治的な活動が展開できる。 ○様々な文化や価値観を理解し、異なる意見に配慮しながら、豊かな人間関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域社会の担い手としての自覚をもって、社会の動向を多面的、多角的に理解する。 ○よりよい地域・社会をつくるため、積極的に意思決定に参画し、多くの仲間とともに行動する。

学校と家庭、地域社会との連携で「市民性」を育てる

【学校・学級において】

- 「市民性」が育まれる環境づくり
- 「大切にしたい指導のポイント」に留意した指導
- 市民性を育てる「学習単元」による推進



「市民性」の高まり

【家庭や地域と共に】

よりよい学校、地域をめざした共同実践など

- ・生徒会が主体となった美化作業
- ・ボランティア活動への参加、参画
- ・地域の行事や祭りへの積極的な参加、協力
- ・地域とともに行動する啓発運動 など



地域共育コミュニティ※

※学校・家庭・地域が子どもを取り巻く問題や教育の課題・願いを共有し、その解決に取り組む共同実践を行う拠点となるものです。

地球環境保護のために、再生紙と大豆油インクを使用しています。

